

鳥取県教育振興基本計画の改訂案に係るパブリックコメントの実施結果について

平成31年2月14日
教育総務課

鳥取県教育振興基本計画（以下「基本計画」という。）の計画期間が平成30年度で終了することに伴い、その改訂に向けて、改訂案に対するパブリックコメントを実施しましたので、結果を報告します。

記

1 パブリックコメントの状況

- (1) 意見募集期間 平成31年1月22日（火）から2月8日（金）まで
- (2) 閲覧方法 県施設（県民課、総合事務所、図書館）及び19市町村に配架、とりネットへの掲載、関係機関への郵送
- (3) 募集方法 郵送、ファクシミリ、電子メール、県庁県民課・総合事務所設置の意見箱

2 応募件数及び対応

- (1) 応募件数 71件（26人）
- (2) 対応

反映した	1件	今後の参考とする	18件
盛り込み済	40件	反映できない	12件

(3) 主な意見と対応等

主な意見	対応等
○基本理念について（全6件）	
盛り込み済（6件）	
(主な意見) ・「自立して生きる力」は自主性を重んじて行動に結びつけることが重要。 ・「社会の中で支え合う力」は人権教育が重要。 ・「ふるさと鳥取県に誇りを持ち未来を創造する力」はふるさとへの愛着が必要。農林業の体験、自然体験が重要。	・鳥取県教育の目指すところを基本理念に盛り込んでおり、基本理念の実現に向けて、具体的な施策を進めていく。
○目標1（社会全体で学び続ける環境づくり）（全3件）	
盛り込み済（3件）	
(主な意見) ・学校支援ボランティア等による地域学校協働活動、放課後子供教育等の取組の充実が必要。地域とともにある学校づくりの推進が重要。	・「学校支援ボランティアや保護者や地域住民等が学校運営に参加するコミュニティ・スクールの充実等」について記載しており、学校、家庭、地域が連携・協働し、社会全体で教育課題に取り組んでいく。
○目標2（学ぶ意欲を高める学校教育の推進）（全14件）	
盛り込み済（11件）	
(主な意見) ・規範意識の向上、道徳教育の充実が重要。	・「子どもたちの豊かな心の育成、規範意識の向上に向けた道徳教育の充実」について記載しており、取組を進めていく。
・社会の一員としての自覚と規範意識を持たせること、中学生の頃から奉仕活動に積極的に参加して行くことが重要。	・「ボランティア活動、自然体験活動、探究学習等の充実」について記載しており、子どもたちの豊かな人間性、社会性を育むための取組を進めていく。

<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育について、自然体験活動、集団宿泊体験の充実が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育を重点取組として、「地域の自然、歴史、文化等から学ぶ体験活動、探究学習の充実」について記載しており、取組を進めていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験、インターンシップを充実することが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域で活躍されている方や企業、団体等と連携した職場体験、インターンシップの充実」について記載しており、子どもたちが、自らの生き方・在り方を考えるキャリア教育の充実等の取組を進めていく。
今後の参考とする（3件） （主な意見） <ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感を育むことについて、幼児教育が非常に大切であり、支援を充実するべき。 ・特別支援教育の向上を図るため、教職員定数を抜本的に改善するべき。 ⇒今後の施策を進める上での参考としていく。	
○目標3（学校を支える教育環境の充実）（全24件）	
盛り込み済（13件）	
（主な意見） <ul style="list-style-type: none"> ・県立高校の在り方の基本的な検討や県立高校の魅力化・特色化が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の県立高等学校の在り方の検討」について記載しており、抜本的な検討を進めていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスは大事なことである。教職員のみならず、管理職や教育委員会にも言及すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスの意識の徹底について、管理職や教育委員会も含め組織全体で取り組んでいく趣旨で記載しており、不祥事を起こさない、起こさせない職場づくりを進めていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、暴力行為、不登校、自殺の予防のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を進めることが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家の活用や関係機関との連携等」について記載しており、取組を進めていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・貧困等への対応として、子ども食堂、学生ボランティアとの連携が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「多様なニーズに応える学びのセーフティネットの構築」について記載しており、「地域未来塾」の活動支援や子ども食堂との連携等を進めていく。
今後の参考とする（11件） （主な意見） <ul style="list-style-type: none"> ・教職員定数の充実が必要であり、取組を進めるべき。 ・実践力を備えた教職員の育成のため、現場実習が重要であり、取組を進めるべき。 ⇒今後の施策を進める上での参考としていく。	
○目標4（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）（全4件）	
盛り込み済（3件）	
（主な意見） <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツの推進が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がい者スポーツの推進」について記載しており、取組を進めていく。
反映できない（1件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・「トップアスリートの育成」について、公教育として必要な施策だとは思わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの夢や健やかな体を育むため、教育施策に位置付け、総合的に推進していく。
○目標5（文化、伝統、豊かな自然の継承、再発見、芸術の創造）（全5件）	
反映した（1件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画本文の表現で、「県民立美術館」、「県立美術館」となっているところがあり、分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「県民立美術館」は、県民参加の仕組みで機能する美術館として表現しているものであり、策定済の「鳥取県立美術館整備基本計画」を除き、「県民立美術館」に統一する。

盛り込み済（4件）	
<p>（主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実等が重要。 ・美術館整備を契機とした学びの支援が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化芸術に触れ、感性を高める機会の提供等」について記載しており、取組を進めていく。 ・「県民立美術館整備による文化芸術の創造・発展」について記載しており、取組を進めていく。
○その他（全15件）	
今後の参考とする（4件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・「教職員の一人当たり平均時間外業務時間の削減率」を数値目標としているが、文部科学省の勤務時間の上限に関するガイドラインを踏まえて、数値目標を変更すべき。 <p>⇒国の動向等を踏まえ、適切に対応する。</p>	
反映できない（11件）	
<p>（主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に数値目標を掲げるのは教育的ではない。 ・数値目標の設定について、平均値にこだわり過ぎている。 ・項目により網羅的に数値目標が設定されているものもあるが、全く記載されていない項目もある。毎年度の取組を振り返り、次年度以降につなげていくため、数値目標の設定が必要である。 ・「難関国立大学の合格者数」は目標として適切ではない。 ・全国学力・学習状況調査結果で全国平均を指標とするのは問題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を進めていく上では、客観性があり、分かりやすい数値目標をできるだけ設定していくこととしている。設定に当たっては、現行基本計画からの継続性や「教育に関する大綱」等の数値目標との整合性も図りながら設定していく。なお、基本計画改訂後も個別の達成状況等を踏まえ、随時、見直し等を行っていく。

3 今後の予定

- ・ H31.3 定例教育委員会「鳥取県教育振興基本計画（2019～2023）」改訂